

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラスアップ・ラボ実務教室		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『利用者の満足度』については、ご回答いただいた方(配布に対する回収率81%)の88パーセントが「はい」を選んでくださり、一番高い評価結果が出た。特に「子ども安心感」については保護者の皆様からの評価を得ているため、今後も利用児が安心して自分の居場所をして過ごしていけるような放課後デイを目指していく。	子どもたちそれぞれの課題に寄り添いつつ、その日の子どもの状態や気持ちを受け止めて柔軟に対応していけるよう、職員が共通認識のもと働きかけ出来るようにしている。そのために日々の情報の共有と細かい気付きを報告し合える雰囲気を作っている。	今回、19パーセントの方に回答いただけなかったため、拾い上げられていない課題などがあるかもしれない。今後も保護者の方々と協力して支援にあたり、日々の中で課題解決に取り組むようにする。
2	『環境・体制整備』について、ご回答いただいた方の84パーセントに評価をいただいた。毎日の掃除や片付け、子どもが使いやすいよう配慮した物の配置などが評価された結果だと思われる。	毎日の掃除、消毒、片付け。 子どもの動線をふさがない物の配置。	トイレの暗さについてご意見をいただいたので、必要に応じてトイレに付き添うなどの配慮をしていくようにする。また明るさについては、窓に設置している外からの目隠しの材質について検討していく。
3	『適切な支援の提供』について、ご回答いただいた方の82パーセントに評価をいただいた。特に支援の内容についての評価が高かった。毎日取り組む課題と、週替わりに行う課題との両方のバランスが良かったのだと思う。	スモールステップで進む学習課題のほか、PCスキルの習得が出来るよう学習課題を用意している。また、内容に飽きがこないようその他のコンテンツについても月毎に内容を変え、興味の幅を広げ、知的好奇心を高めることが出来るような提供をしている。	『適切な支援の提供』の中で、「放課後児童クラブや児童館との交流」の項目について実施できていない。地域の行事には参加し、他のおとなや子どもとの関りは持っているが、回数的に少ない。また、保護者の方より必要性を感じないとのご意見も頂いているため、実施については慎重に検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	大きく分けた評価内容5つのうち『非常時の対応』についてが今回最も低く、ご回答いただいた方の73%にとどまった。特に非常時の訓練について20パーセントの方が「どちらとも言えない」「分からない」を選んでいて、年2回実施している避難訓練について、もっと周知が必要だと感じた。	避難訓練については、実施した内容を写真付きでおたよりに掲載している。ただし、年に2回の実施のため、利用曜日によっては訓練に参加できない児童・生徒がいることも確か。	避難訓練は例年の取り組みなので、実施曜日に偏りが無いように計画を立て、より多くの利用児童が訓練に参加できるように配慮していく。
2	『保護者への説明』については、項目によって評価が分かれた。「支援内容の説明」や「子どもの状況の共通理解」「共感的支援」については高い評価をいただいているもの関わらず、「保護者会の開催やきょうだい同士の交流の機会」「家族支援プログラム」については低い評価だった。そのため、全体で76パーセントの評価にとどまった。	保護者会や家族支援プログラムなどは、実施できていない。相談については必要に応じて常時受けとめており、個別面談などの機会を使ってお話しも出来ている。保護者会については必要性を感じていないとのご意見もあるので、実施については慎重に検討していく。	保護者会の要望は出ないものの、受験を控えた保護者からは情報を求める声が出ることもある。受験を終えた保護者から、次の学年の保護者へ体験談などをお話していただくような機会があっても良いかと思うが、双方の同意が必要なため、実施については工夫が必要。
3			